

令和7年度 第1回亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会

と き：令和7年11月14日(金)

午後1時30分から

ところ：亀岡市役所3階302・303会議室

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

(1) 亀岡市いきいき長寿プランの趣旨・概要について 資料1

(2) 第9期亀岡市いきいき長寿プランの進捗状況について 資料2

(3) 第10期亀岡市いきいき長寿プランの策定スケジュールについて

資料3

(4) 高齢者等実態調査について

資料4-1、資料4-2、資料4-3、別紙

4 閉 会

亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会委員名簿

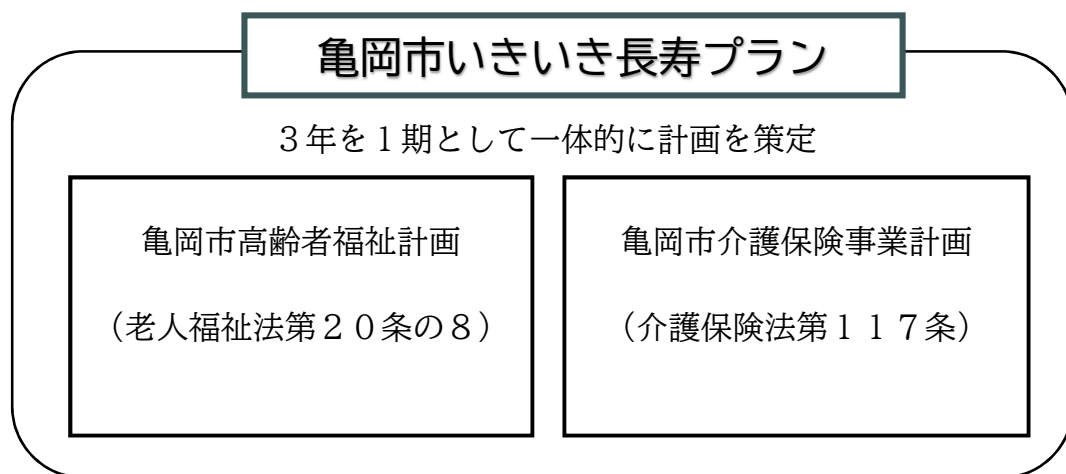
(令和6年7月1日～令和8年6月30日：敬称略)

所属	団体名	委員名	備考
学識経験者	龍谷大学	松田 美智子	
保健、医療、福祉等	亀岡市医師会	河野 秀彦	
保健、医療、福祉等	亀岡市歯科医師会	荻野 茂	
保健、医療、福祉等	亀岡市薬剤師会	国府 千香代	
保健、医療、福祉等	亀岡市社会福祉協議会	山崎 浩久	
保健、医療、福祉等	亀岡市民生委員児童委員協議会	中西 明美	
保健、医療、福祉等	公益社団法人 亀岡市シルバー人材センター	浦 邦彰	
保健、医療、福祉等	社会福祉法人 利生会	細川 景子	
保健、医療、福祉等	社会福祉法人 友愛会	前渊 功	
保健、医療、福祉等	亀岡市老人クラブ連合会	林 昭	
市民代表	亀岡市自治会連合会	堀田 稔	
市民代表	市民代表	谷奥 正憲	
市民代表	市民代表	岩坂 静子	
行政機関	京都府南丹広域振興局	庄田 昭彦	

亀岡市いきいき長寿プラン及び推進協議会の趣旨・概要

○「亀岡市いきいき長寿プラン」とその目的

亀岡市は高齢者の福祉施策全般に関する「高齢者福祉計画」と、介護保険サービス量の見込み等を示す「介護保険事業計画」を『いきいき長寿プラン』（3年を1期）として一体的に策定し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指しています。



○亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会について

本市では、学識経験者、保健・医療・福祉等の関係者、市民の代表、行政機関の関係者等を委員とする亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会を設置し、いきいき長寿プランの策定や施策の推進を図るため、協議・検討をいただいています。

任期：2年

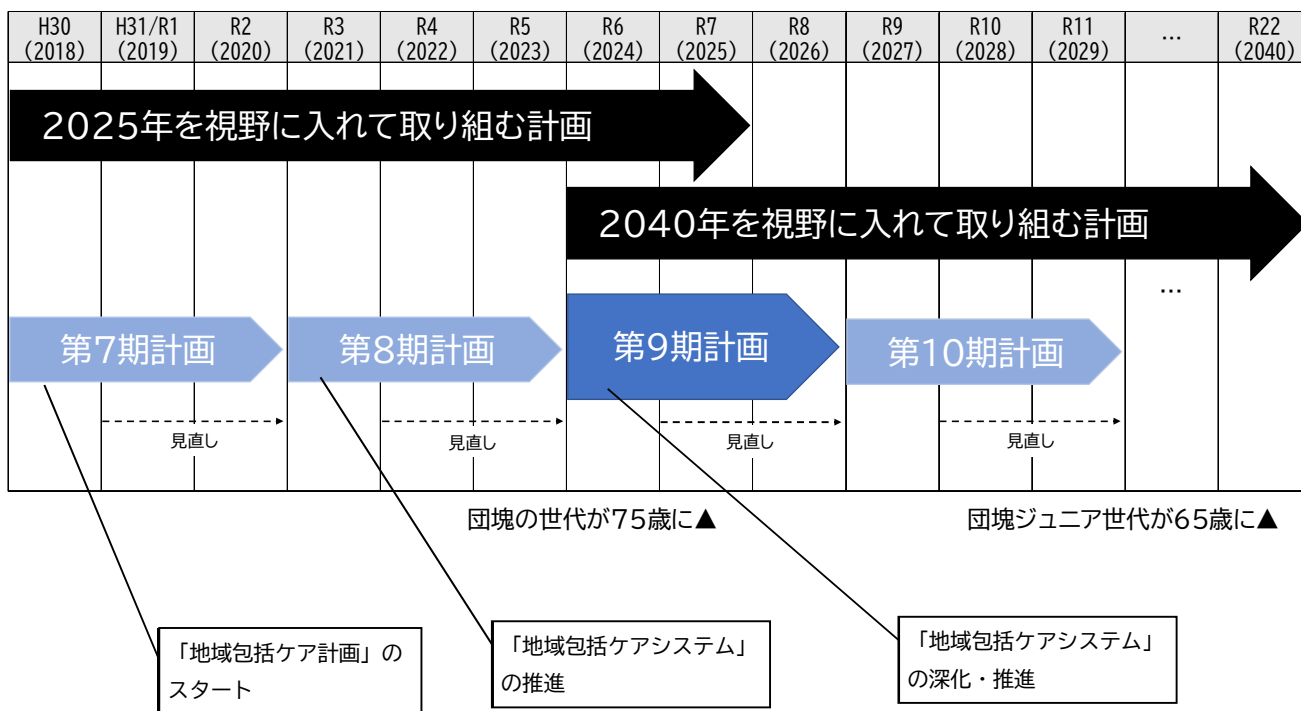
→亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会設置要綱（平成20年告示第7号）
＜いきいき長寿プラン(第9期)冊子 P148＞

○今期計画までの国の動き

国は、第6期計画（平成27～29年）からは、「団塊の世代」全員が75歳となり介護需要が大幅に増加するとされている2025年を見据え、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）を構築することを示してきました。

また第8期計画からは、団塊ジュニア世代が65歳以上に到達し、高齢化が進展すると予想される2040年を見据えた地域共生社会の実現を図っていくことを示してきました。

第9期計画（今期）では、介護サービス基盤の計画的な整備、地域包括ケアシステムの更なる深化・推進に向けた取組、地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性を向上することを示しています。



令和7年度 亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会 予定（案）

	日 時	内 容
令和7年度 第1回	11月14日 (金)	①亀岡市いきいき長寿プランの趣旨・概要について ②第9期亀岡市いきいき長寿プランの進捗状況について ③第10期亀岡市いきいき長寿プランの策定スケジュールについて ④高齢者等実態調査について
第2回	3月頃	①高齢者等実態把握調査の結果について ②第9期計画策定に向けた国の動向について

※その他の議事がある場合は適宜加えることとする。

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

資料 2

基本目標	施策の方向	基本施策（活動／アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値		令和6年度					担当
				目標指標	令和6年度 (2024) ※実施見込	実施内容	自己評価	自己評価の理由	課題と対応策	中長期的な課題	
基本目標1 地域包括ケアシステムの強化	(1) 相談体制・支援体制の強化（地域包括支援センターの機能強化）	① 総合相談支援の充実	地域包括支援センター出張相談の実施	地域包括支援センター出張相談の実施回数	年42回以上	スーパーや地域のイベント等で包括の出張相談を実施した。	A		予定どおり実施できた。		高齢福祉課 地域包括ケア推進係
					84回						
				相談件数	8,560件						
		② 介護予防ケアマネジメントの充実	機能強化職員等の配置	地域包括支援センターにおける機能強化職員の配置人数	7人以上	3職種以外に機能強化職員を配置した。	B		予定どおり実施できた。		高齢福祉課 地域包括ケア推進係
					7人						
			包括及び市で生活状況調査（訪問調査）を実施	訪問調査実施件数	年30件以上	10月から市と包括で対象者を選定し、訪問調査を実施した。	A		予定どおり実施できた。		高齢福祉課 地域包括ケア推進係
					39件						
		③ 包括的・継続的なケアマネジメントの充実	地域包括支援センターが生活支援コーディネーターと地域ケア推進会議開催に向けた連携	各地域包括支援センターと生活支援コーディネーターの連携回数	年7回以上	地域ケア推進会議の実施等で、包括と生活支援コーディネーターとの連携を行った。	A		予定どおり実施できた。		高齢福祉課 地域包括ケア推進係
					44回						
		④ 地域包括支援センター職員の質の向上と負担軽減	地域包括支援センター職員（3職種）の確保	配置基準を満たしている地域包括支援センター数	7包括	7つの日常生活圏域に地域包括支援センターを設置した。	C	南部包括とつつじヶ丘包括で社会福祉士が欠員	令和7年度の地域包括支援センター委託料を増額した。 令和7年度に2包括とも社会福祉士欠員は解消した。	委託料の増額など対応しているが、専門職の不足が課題となっている。	高齢福祉課 地域包括ケア推進係
					5包括						
			地域包括支援センター職員に対する研修の実施	地域包括支援センター職員に対する研修の実施	年2回	・介護予防ケアマネジメント研修（7/11） ・グループケア研修（8/11） ・全方位型アセスメント研修（10/21、11/15）	A		予定どおり実施できた。		高齢福祉課 地域包括ケア推進係
					4回						
		⑤ 地域ケア会議の強化	地域ケア個別会議の開催	開催回数	年7回以上	医療・介護・福祉の専門職で事例を検討し、地域課題を把握する会議を開催した。	A		予定どおり実施できた。 令和7年度は新たな国の指針に合わせた内容で実施する。		高齢福祉課 地域包括ケア推進係
					10回						
			地域ケア推進会議の開催	開催回数	年7回以上	地域自治会、民生児童委員、医療・介護・福祉の専門職などが参画したネットワークを構築するための会議を地域で開催した。	A		予定どおり実施できた。		高齢福祉課 地域包括ケア推進係
					28回						

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

資料 2

基本目標	施策の方向	基本施策（活動／アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値		令和6年度					担当				
				目標指標	令和6年度 (2024) ※実施見込	実施内容	自己評価	自己評価の理由	課題と対応策	中長期的な課題					
基本目標1 地域包括ケアシステムの強化	(2) 生活支援体制整備の推進	① 生活支援体制整備の推進	生活支援コーディネーターの設置	SC設置数（1層）	1人	亀岡市生活支援体制整備推進協議会（3/25）を開催	B		予定どおり実施できた。 来年度は2層協議体から委員を追加する。		高齢福祉課 地域包括ケア推進係				
					1人										
				1層協議体の数	1つ										
					1つ										
				SC設置数（2層）	3人	住民主体の移動支援、ともいきさん活動、ともいきさん個人事業主、世代ごちゃまぜの地域活動、地域活動者交流会の5つのテーマで2層協議体を開催。	A		必要なテーマに応じて実施できた。		高齢福祉課 地域包括ケア推進係				
					4人										
			2層協議体の数	3つ	高齢福祉課 地域包括ケア推進係										
				5つ											
			集いの場の把握、担い手の発掘	高齢者通いの場支援事業助成金の交付団体数	16団体	・高齢者通いの場支援 ・介護予防に資する活動助成	A		・地域で開催のフレイル予防特化型介護予防事業等の講座終了後の市民の活動の場づくりにつながるよう啓発し、地域の通いの場の増加・充実を図る。		健康増進課 健康づくり係				
					17団体										
			就労的支援コーディネーターの設置	就労的支援コーディネーター設置数	1人	いきいき健康ポイント制度や重層的支援体制整備事業との連携。	B		予定どおり実施できた。		高齢福祉課 地域包括ケア推進係				
					1人										

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

資料 2

基本目標	施策の方向	基本施策（活動／アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値		令和6年度					担当
				目標指標	令和6年度 (2024) ※実績見込	実施内容	自己評価	自己評価の理由	課題と対応策	中長期的な課題	
基本目標1 地域包括ケアシステムの強化	(3) 認知症施策の推進	① 認知症への理解を深めるための知識の普及啓発	認知症市民公開講座	開催回数	年1回	若年性認知症支援コーディネーターと若年性認知症当事者による講演。	A		目標値の1/2程の参加者数であったため、趣向を変えた啓発が必要。令和7年度は講演ではなく映画上映を検討する。		高齢福祉課 高齢者支援係
					年1回						
			参加者数		120人	若年性認知症支援コーディネーターと若年性認知症当事者による講演。	C	目標値の1/2程の参加者数であったため。	目標値の1/2程の参加者数であったため、趣向を変えた啓発が必要。令和8年度は講演ではなく映画上映を検討する。		高齢福祉課 高齢者支援係
					63人						
			認知症カフェ	開催回数	年40回	10月から3か月を1クールとし、利用者を変えて2クール実施。(送迎付)	B		対象地域を限定した開催になっているため、他地域での開催も検討する。		高齢福祉課 高齢者支援係
					10回						
				のべ参加者数（年間）	80人		B				高齢福祉課 高齢者支援係
					69人						
			認知症サポーターの育成	サポーターの養成数（年間）	400人	小学校5校で実施、市民向け講座を2回実施	B		予定通り実施できた。		高齢福祉課 高齢者支援係
					264人						
				サポーター養成講座 実施回数	年15回程度	小学校5校で実施、市民向け講座を2回実施	A		予定通り実施できた。		高齢福祉課 高齢者支援係
					年7回						
				活動しているサポーター数	3人	認知症サポーター養成講座実施	A				高齢福祉課 高齢者支援係
					10人						
		② 認知症支援体制の整備と関係機関の連携	認知症地域支援推進員	認知症地域支援推進員の配置	1人	認知症地域支援推進員研修受講	A		これまでは市職員が受講していたが、令和7年度は地域包括支援センターの職員が受講し、より地域支援に活かす予定。		高齢福祉課 高齢者支援係
					1人						
			認知症初期集中支援チーム	ケースが概ね6か月で医療・介護につながる割合	100%	チーム員と包括支援センター職員、医療機関が連携した	A		相談直後から関係機関が連携し、迅速に対応できた。この体制を継続していく必要がある。		高齢福祉課 高齢者支援係
					100%						
			認知症高齢者事前登録制度	広報回数	年1回	広報誌10月号に掲載	B		制度をもっと広く広報周知する必要がある。来年度に配布物を見直すため、それに併せた広報を実施する。		高齢福祉課 地域包括ケア推進係
					1回						
				登録者数(年度末)	82人						

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

資料 2

基本目標	施策の方向	基本施策（活動／アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値		令和6年度					担当
				目標指標	令和6年度 (2024) ※実施見込	実施内容	自己評価	自己評価の理由	課題と対応策	中長期的な課題	
基本目標1 地域包括ケアシステムの強化	(4) 在宅医療・介護の連携推進	① 在宅医療・介護の連携の実態把握、課題の検討、課題に応じた施策立案	亀岡市地域医療・介護・福祉連携推進会議の開催	会議の開催回数	概ね月1回 概ね月1回	・推進会議 1回 ・各部会活動・委員会活動1回／1～2カ月	A		推進会議での決定事項について、各部会活動を実施し、地域医療・介護・福祉の連携推進をはかる。		健康増進課 健康管理係
		② 地域の関係者との関係構築・人材育成	かめおか医療連携研究会の開催	開催回数	年2回以上 年1回	・かめおか医療連携研究会 1回（ACPに関する講演、亀岡市版ACP「わたしの想い」紹介及び活用事例の紹介、パネルディスカッション。参加者78人）	C	集合型での研究会の開催は1回であり、目標値の2回以上には到達していないがYouTubeでの動画公開で多くの関係者に閲覧していただいたと考ええる。また、管内で開催されている他の研究会の啓発・参加や、情報交換会を年1回開催して関係者のスキルアップや関係づくりに努めた。	関係者のスキルアップと関係づくりのため、継続的に開催することや、新規参加者が参加しやすい場づくりやテーマ等の工夫が必要。		健康増進課 健康管理係
			情報交換会の開催	開催回数	年10回以上 年11回	ざっくばらんの会 11回 毎回テーマを設定し、ざっくばらんに意見交換をし、困っていることの共有や相談、情報共有発信等の場とした。	A		より多くの人に参加してもらえよう、現在参加できていない医師や関係者が参加しやすい方法の1つとして開催曜日を隔月で変えるなど調整する。		健康増進課 健康管理係
		③ 在宅医療・介護の連携に向けた基盤強化	市民への啓発活動の実施	実施回数	年5回以上 年3回	・健康いきいきフェスティバル 1回 コーナー参加者35人 ・終活講演会 1回 参加者191人 ・出前タウンミーティング 1回	C	数値目標は未達成となったが、本年度は、中央型の終活講演会を1回開催することを目標として活動した。	終活講演会は、参加希望者が多かったため、年2回の講演もしくは中央型とは別に少人数での開催等検討が必要。		健康増進課 健康管理係
基本目標2 住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちづくり	(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進	① 介護予防・日常生活支援サービス事業の取組	介護予防・生活支援サービス事業	利用者数（訪問）	230人 261		A				高齢福祉課 介護事業所係
				利用者数（通所）	391人 491						
			介護予防教室	参加実人数（年間）	100人 140人						
		② 一般介護予防事業の推進	体力測定事業	参加者数（年間）	400人 380人	・体力測定及び結果説明を兼ねた健康パワーアップ講座を市内各地域で16回開催	A		・運動やフレイル予防の意識を高め、体力測定事業の利用啓発を図る。		健康増進課 健康づくり係
			「出前健康講座」	広報回数	年3回 年4回	・出前健康講座の広報（広報かめおか2回）、LINEでの広報1回実施。その他ホームページの掲載、健康づくりに関する事業での広報を随時、実施している。	A		・出前健康講座の周知については、引き続き、啓発を図る。		健康増進課 健康づくり係
				健康教育開催回数	11回 17回	・地域市民グループ等からの依頼により、保健師・管理栄養士・健康運動指導士・歯科衛生士等の講師を派遣し・健康教育を実施	A		・出前健康講座の周知・健康づくりや介護予防に関する講座内容の充実を図る。		健康増進課 健康づくり係
			介護予防拠点活動事業	実施場所の数	9か所 9か所	・フレイル予防に特化した介護予防講座を実施（16回シリーズ・5か所） ・週1回通所の介護予防事業を実施（4か所）	A				健康増進課 健康づくり係
				のべ参加者数	2,800人 3,000人						健康増進課 健康づくり係

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

資料 2

基本目標	施策の方向	基本施策（活動／アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値		令和6年度					担当
				目標指標	令和6年度 (2024) ※実施見込	実施内容	自己評価	自己評価の理由	課題と対応策	中長期的な課題	
基本目標2 住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちづくり	(2) 健康づくりの推進と介護予防の一体的な実施	① 健康づくり支援の充実	健康づくりの普及啓発	健康イベント（健康いきいきフェスティバル）の開催回数	年1回 年1回	・健康いきいきフェスティバル 1回 来場者412人	B		幅広い世代の人に参加してもらえるように日時・会場レイアウト等を工夫する。また、健康意識が低い人や若い人の来場を促す内容を検討する。		健康増進課 健康管理係
			各種健診（検診）の実施	特定保健指導の実施率	31% 26.10%	・令和6年度特定健診の特定保健指導対象者に積極的保健指導・動機づけ保健指導を実施。 ・実施（参加）率24.0% （積極的保健指導実施率：10.5%、動機づけ保健指導実施率：27.5%）	C	・目標に達していない。	・実施主体である保険医療課と連携し、特定健診及び特定保健指導の利用率を高める啓発や質の高い、集団指導や個別指導ができるよう充実を図る。		健康増進課 健康づくり係
			健康教育・健康相談	健康相談開催回数	年12回 年8回	・健康相談を定例・中央型で5回開催し、出張健康相談2回、イベント型で3回実施、その他随時健康相談を電話や窓口相談で実施	B	・健康相談事業の開催回数は10回であったが、常時電話相談や窓口相談、必要時来所や訪問により、個別相談を実施している。また、その他の事業内で相談に応じている。	・健康相談事業の周知を図るとともに、健康増進課の保健師や管理栄養士、健康運動指導士、歯科衛生士の周知を図り、個別相談等の身近な利用にもつなげていく。		健康増進課 健康づくり係
		② 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	通いの場への支援	支援対象となる「通いの場」の数	14か所 19か所	・亀岡市高齢者通い場事業助成金事業の申請団体や自治会で活動している団体を含め、地域包括支援センター等と情報共有や連携をしながら、20か所の通いの場の人に対して健康教育を実施した。	A		今後も通いの場でボビュレーションアプローチを実施し、健康維持、増進に努める必要があるため継続する。亀岡市高齢者通い場事業助成金の申請団体を主に健康教育を実施しているが、自治会や社会福祉協会、地域包括支援センター等と連携をとりながら新規の団体への介入や通いの場の人に対する支援を検討し充実を図る。		健康増進課 健康づくり係
				支援実施率	100% 58.20%	・①～⑤のハイスク対象者に対し訪問等の個別指導を実施 ①健康状態不明者：99.2%（129人/130人） ②糖尿病重症化予防コントロール不良者：92.3%（36人/39人） ③糖尿病等治療中断者：75%（3人/4人） ④腎機能不良未受診者：100%（1人/1人） ⑤口腔機能低下者：26.4%（43人/163人） ①～⑤の支援平均実施率：78.6% ・全対象者には、郵送等で健康づくりや介護予防に関する資料等案内している。啓発実施率：100%	B		受診勧奨や、情報提供を実施することができているが、支援必要者の受診までつなげることが難しく、次年度フォローを必要とする継続支援者が出ているため、動機づけとなる支援が必要である。 今後も健康状態の把握と共に必要な医療機関やサービスへつなげていく。		健康増進課 健康づくり係

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

資料 2

基本目標	施策の方向	基本施策（活動／アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値		令和6年度					担当					
				目標指標	令和6年度 (2024) ※実施見込値	実施内容	自己評価	自己評価の理由	課題と対応策	中長期的な課題						
基本目標2 住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちづくり	(3) 高齢者の活動支援（生きがいづくり）	① 活動機会の拡充	老人クラブの活動支援	老人クラブイベント参加者数	500人	高齢者の生きがいと健康づくりのため、その運営を支援した。	A				高齢福祉課 高齢者支援係					
					1,014											
			生涯学習等	亀岡市さわか教室の受講者にアンケートを行い、日々の生活に活かしたい具体的な内容が得られたと答えた人の割合	80%	開講式 第1講座 フレイル予防－楽しみながら健康なからだづくりを学ぼう！－ 講師：佛敎大学 保健医療技術学部 白星 伸一さん 第2講座 楽しく健活しよう！－見直そう！命を守る水－ 講師：（株）明治食育セミナー担当 管理栄養士 高井 紀子さん 第3講座 懐かしの学び舎で童謡・唱歌に親しもう！－ハーモニカ・ヘルマンハーブとともに－ 講師：ハーモニカ奏者 八木 敏光さん 日本ヘルマンハーブ振興会 インストラクター 山本 泰子さん 第4講座 スポーツでコミュニケーション！－卓球バレー・モルック・ボッチャにチャレンジ－ 講師：亀岡市スポーツ推進委員協議会 スポーツ推進委員13名 第5講座 笑いの伝承－落語を楽しもう！－ 講師：落語家 笑福亭 仁嬌さん 第6講座 阪神淡路大震災から30年を経て－北摂・丹波山地の地震活動とともに考える－ 講師：元京都大学防災研究所准教授 片尾 浩さん 第7講座 220年の伝統を現代へ通用するワザに－からだにもこころにもやさしい京菓子作－ 講師：（株）亀屋良長 取締役 吉村 由依子さん 閉講式	A		さわか教室は30年以上実施してきた事業であり、高齢者の生きがいづくりや学びの場として多くの方に受講いただいている。健康寿命を延ばすことへの市民の関心は高く、フレイル予防、認知症予防等の講座への希望は多いため、運動や脳トレ、心を動かすといった様々な学習を日々の生活に生かしていくことを目指している。今後は開催場所をギャラリーかめおか以外の様々な地域で開催するなど、より一層受講者が参加しやすいよう工夫をしながら、また地域での開催が新たな居場所のきっかけになるように継続する。	社会教育課						
					93.08%											
					三大シンボル講座（コレージュ・ド・カメオカ、生涯学習市民大学、丹波学トーク）のべ参加者数	4,220人						C	目標未達成のため	講師や講座のテーマにより参加者数の増減が激しい。R7以降は、人生110年時代に即した講師やテーマを選定し、幅広い年代の方に参加いただけるよう工夫していく。	市民力推進課	
						2,575人										
					生涯スポーツ事業参加者	5,535人						C	かめおか市民スポーツスポーツライフの実現に向けたサポートを行うため、幅広い世代に向けた実施内容や現在の参加者のニーズにあった内容の工夫が今後の課題であり、内容を検討する中で、市民が誰でも気軽に参加できる事業をさらに推進する。	参加者数が増えることは必要であるが、気軽に参加できる機会の創出を主たる目的に実施しているため、会場の規模等も考慮しながら、参加者が安全に参加できる環境づくりと参加者数増加のバランスが課題である。	生涯スポーツ課	
						5,322人										
					老人福祉施設（介護予防センター）の活用促進	使用日数						370日	C	令和5年度実績の使用日数328日、のべ利用者3,063人と比べると増加しているが、数値目標を達成できなかった。		
			341日													
			のべ利用者数	4,900人												
			外出促進（敬老乗車券の販売）	購入者実人数	3,551人	C	2冊購入者が多かった。			高齢福祉課 高齢者支援係						
					1,500人											
			1,098人													
				② 就労機会の拡大	シルバー人材センターの活動支援	会員数	660人	C	昨年度からは増加しているが、目標人数には達しなかった。	高齢者が増加するなかで重要な役割を担っている機関として安定的に運営がなされるよう、シルバー人材センターへ運営支援を継続する。		高齢福祉課 高齢者支援係				
		512人														

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

資料 2

基本目標	施策の方向	基本施策（活動／アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値		令和6年度					担当
				目標指標	令和6年度 (2024) ※実績見込	実施内容	自己評価	自己評価の理由	課題と対応策	中長期的な課題	
基本目標3 高齢者の安全・安心な暮らしを支える体制づくり	(1) 権利擁護の促進	① 高齢者虐待の防止	早期発見・防止に向けた取組	専門職等への周知及び市民への啓発	年1回以上	亀岡市高齢者虐待防止ネットワーク会議(R7年2月14日)	A		予定どおり実施できた		高齢福祉課 高齢者支援係
				年1回以上							
			関係機関との連携強化	高齢者虐待ネットワーク会議の開催 (各機関の役割確認を必須とする)	年1回						
				年1回							
		② 成年後見制度の利用促進	権利擁護支援の地域連携ネットワークにおける中核機関運営	中核機関運営委員会の開催	年3回以上	中核機関運営委員会（8月20日・11月26日・3月25日）を開催。	B		予定どおり実施できた		高齢福祉課 地域包括ケア推進係
			3回	高齢福祉課 高齢者支援係							
		③福祉サービス利用援助事業の活用	社会福祉協議会における福祉サービス利用補助事業の活用	実績件数	0件	毎月広報かめおか、ホームページに啓発記事を掲載（12回） 市Facebookに啓発記事掲載（2回）	A		緊急性のある事案の広報に課題があるが、市LineやFacebookを活用して広報していく。		消費生活センター（市民課）
		④ 消費者被害対策の強化	消費者被害防止の啓発	広報回数	年12回以上						
	(2) 整備 住まい	① 介護保険外入所施設・高齢者向け住宅の充実	軽費老人ホーム、サービス付き高齢者住宅の充実	市内の軽費老人ホーム・サービス付き高齢者住宅の戸数	33戸						高齢福祉課 高齢者支援係
		④ 養護老人ホームへの入所措置	養護老人ホームへの入所措置	措置件数	2人						高齢福祉課 高齢者支援係
	(3) 安全・安心な生活環境づくり	① 災害時における要支援者の避難支援体制の整備	要支援者の避難支援体制の充実	避難行動要支援者名簿（同意者）に対する個別避難計画の作成率	90%	令和6年1月にデータ更新をし、3月に対象者となりうる方696人へ確認書類を作成、送付。	B	送付対象者に対して、回答者数が336人であり、返信率は高くはない。（約48％）	市民の理解促進のための啓発として、地域での研修会等を通じて、周知していく必要がある。	作成済みの計画について、より実用的な計画となるよう、福祉専門職や自治会、民生委員等と連携しながら更新していく必要がある。	地域福祉課
				91.8%							
		② 命のカプセル等の配付	命のカプセルの普及	命のカプセル新規配付数	700件	民生委員児童委員協議会と契約し、配布を実施した。	A		中に封入している救急医療情報シートが更新されていない、保管場所が適切でない等の課題がある。		高齢福祉課 高齢者支援係
				命のカプセル（新規配付＋情報シート配付）	1,388件						
				命のカプセル普及啓発（市広報掲載）	年1回	令和6年10月1日に広報した	A				
				年1回							
		③ 交通安全対策の充実	運転免許証の自主返納	自主返納者支援事業申請者数	330件	高齢者による交通事故を防ぐため、70歳以上の高齢者に対し、運転免許証の自主返納を促す取り組みを行っており、交通安全対策として取り組んだ。	A		高齢化社会による交通事故防止の観点から今後も自主返納を促す取り組みに努める。	・高齢化が進み、人口の高齢者の占める割合が上がることで、高齢者が事故の当事者となる可能性が上がると思われる。事故の当事者とならないように交通安全の意識を向上させたい。 ・高齢者の方々に、ご自身の認知機能・身体機能を理解し、安全運転継続の意識を高めていただくことが課題。	自治防災課
					364名						
					前年度から減少（令和6年52件） 52件						

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

資料 2

基本目標	施策の方向	基本施策（活動／アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値		令和6年度					担当					
				目標指標	令和6年度 (2024) ※実施見込	実施内容	自己評価	自己評価の理由	課題と対応策	中長期的な課題						
基本目標4 介護保険をはじめとしたサービス基盤の整備	（4） 地域福祉活動・地域交流ミの支援	①ボランティア・NPO活動の促進	いきいき健康ポイント制度	参加者登録数	250人	・活動受入団体（43団体）でボランティア受け入れ ・交換ポイント数200,700ポイント	C	昨年度からは増加しているが、目標値には到達しなかった。	男性参加者が少ないため、活動受入団体を福祉施設だけでなく、自治会や学校など多様な団体にしていく必要がある。		高齢福祉課 地域包括ケア推進係					
					213人											
		②市民活動団体・組織の育成・支援	高齢者を見守る地域コミュニティの育成	自治会加入世帯数	80.4%	自治会活動への参加促進事業 自治会活動の住民への周知事業	C	前年度に比べ、自治会加入率が減少してしまったため。	今後も、自治会加入率維持に向けて、転入者への案内、開発業者への指導等により、自治会加入促進を進めていく必要がある。	ライフスタイルの多様化等により、自治会の加入率が徐々に減少し、自治会の維持が困難になる可能性があると考えられる。自治会の意義を広く伝え、自治会加入率の維持を目指したい。	自治防災課					
					79.0%											
	①介護サービスの確保	介護サービスの質の確保	地域密着型サービス事業所の運営指導件数	7件	令和6年7月18日開催	A					高齢福祉課 介護事業所係					
			集団指導の実施	年1回								年1回				
				新規指定事業所数									3事業所	3事業所		
			介護離職ゼロに向けた取組									特養待機者の減少	40人		C	目標値を超える待機者数となった
		51人														
		②人材確保及び質の向上	介護支援専門員の質・専門性の向上	居宅介護（介護予防）支援事業所の運営指導件数	7件	令和6年11月13日開催 （ビデオ会議型）	C	事業所毎に5年に1回のスパンで計画的に実施している				高齢福祉課 介護事業所係				
	5件															
	研修の実施回数			年1回	年1回											
				介護人材の確保・育成									介護人材確保助成事業の件数	25件	B	
	26件															
	③介護給付の適正化の推進 （介護給付適正化計画）		介護給付適正化の推進	要介護認定の委託調査の事後点検	全件実施	運営指導時 45件 業者委託分 12件 計 57件	A					高齢福祉課 介護事業所係				
		ケアプラン点検の件数		30件	57件											
				医療情報との突合・縦覧点検									全件実施	B		
		全件実施														
		④防災・感染症対策の推進	事業所において業務継続計画（BCP）の策定	策定率	100%		B					高齢福祉課 介護事業所係				
					100%											
事業所において避難訓練の実施	実施率		100%	B												高齢福祉課 介護事業所係
			100%													

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

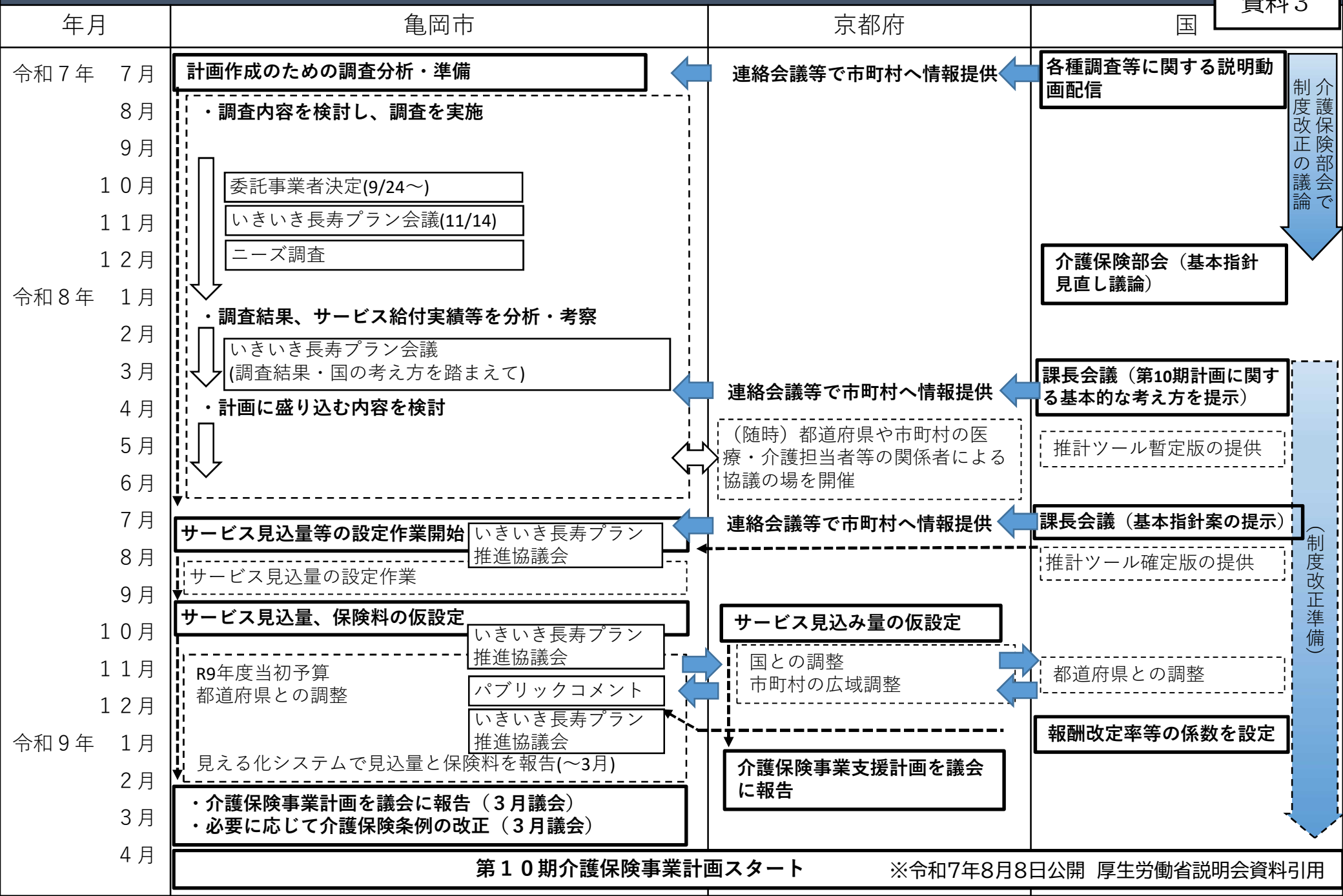
基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

資料 2

基本目標	施策の方向	基本施策（活動／アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値		令和6年度					担当
				目標指標	令和6年度 (2024) ※実施見込	実施内容	自己評価	自己評価の理由	課題と対応策	中長期的な課題	
基本目標4 介護保険をはじめとしたサービス基盤の整備	(こ) 高齢者福祉サービス	①高齢者福祉サービスの整備	寝具洗濯乾燥消毒事業	実施件数	2件	ねたきり状態や居失禁により、寝具の衛生管理が困難な高齢者に、寝具の洗濯乾燥消毒サービスを行った。					高齢福祉課 高齢者支援係
			緊急通報装置設置事業	新規設置件数	33件	緊急通報装置一式の設置。緊急通報がなされた場合はセコムの緊急要員が高齢者の自宅に急行する。					高齢福祉課 高齢者支援係
			高齢者自立支援住宅改修費助成金交付事業	交付件数	1件	介護保険の認定を受けていない人を対象に、住宅改修の費用を助成。					高齢福祉課 高齢者支援係
			福祉電話設置事業	設置件数	0件	設置件数なし					高齢福祉課 高齢者支援係
			高齢者ごみ出し支援事業の構築	利用者数	40人	ごみ出しが困難な高齢者に対してのごみ出し支援事業の実施	A	現状の収集体制において、全ての申請に対応ができない。	【課題】申請に対する審査が困難 【対応策】関係課における審査の実施	障がい者等も含めた対象者条件の設定	資源循環推進課
					66人						
			介護用品支給事業	支給件数	296件						高齢福祉課 高齢者支援係
			認知症高齢者等居場所確認専用端末機貸与事業	貸与件数	0件						高齢福祉課 地域包括ケア推進係
			在宅高齢者介護激励金支給事業	支給件数	1件						高齢福祉課 高齢者支援係
			家族介護慰労金支給事業	支給件数	0件						高齢福祉課 高齢者支援係
		②高齢者福祉サービスの周知活動の実施	サービスガイドブックの作成	配布冊数/作成冊数	1,100冊／1,100冊	高齢者福祉サービスの広報誌として、ガイドブックを作成し、関係機関に配布及び窓口を設置した。					高齢福祉課 高齢者支援係

第10期プラン策定の調査から計画作成までのスケジュール

資料3



令和7年11月14日 亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会資料

令和7年度高齢者等実態調査について

高齢福祉課

第10期介護予防・日常生活圏域二一ズ調査の概要

名称			(第9期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	(第10期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
目的 (調査票の作成段階での想定)			<div>地域診断 見える化システム</div> <ul style="list-style-type: none">要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定すること介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用すること	
調査対象			要介護1～5以外の高齢者	
調査項目数			必須項目35問 オプション項目29問	必須項目35問 オプション項目30問
設問の内容	「リスクの発生状況」の把握	基本チェックリストで設定したもの「虚弱」高齢者を把握する項目	<ul style="list-style-type: none">運動器の機能低下低栄養の傾向口腔機能の低下閉じこもり傾向認知機能の低下	
		その他	<ul style="list-style-type: none">IADL／転倒リスク	
	「社会資源」等の把握		<ul style="list-style-type: none">ボランティア等への参加頻度たすけあいの状況地域づくりへの参加意向主観的幸福感 等	<ul style="list-style-type: none">ボランティア等への参加頻度たすけあいの状況地域づくりの場への参加意向(担い手として／参加者として)就労の状況主観的幸福感 等
	その他		・認知症にかかる相談窓口の認知度	
その他				・調査結果と個人が照合できるかたちの調査票を提示
標準的な実施方法			「実施の手引き」「活用の手引き」の提示	
見える化システムへの登録			あり(標準的な実施方法により得られた必須項目、オプション項目への回答)	

地域診断

見える化システム

③ 調査票の配布

- 調査票の回収後に標本名簿と照合可能な形式で配布することが重要
- 照合することが難しい場合、調査結果の分析に必要な高齢者の基本属性を調査項目に追加する必要がある。
- 機微な情報を取得する調査であるため、個人情報の取り扱いについても、十分な周知・配慮が必要。

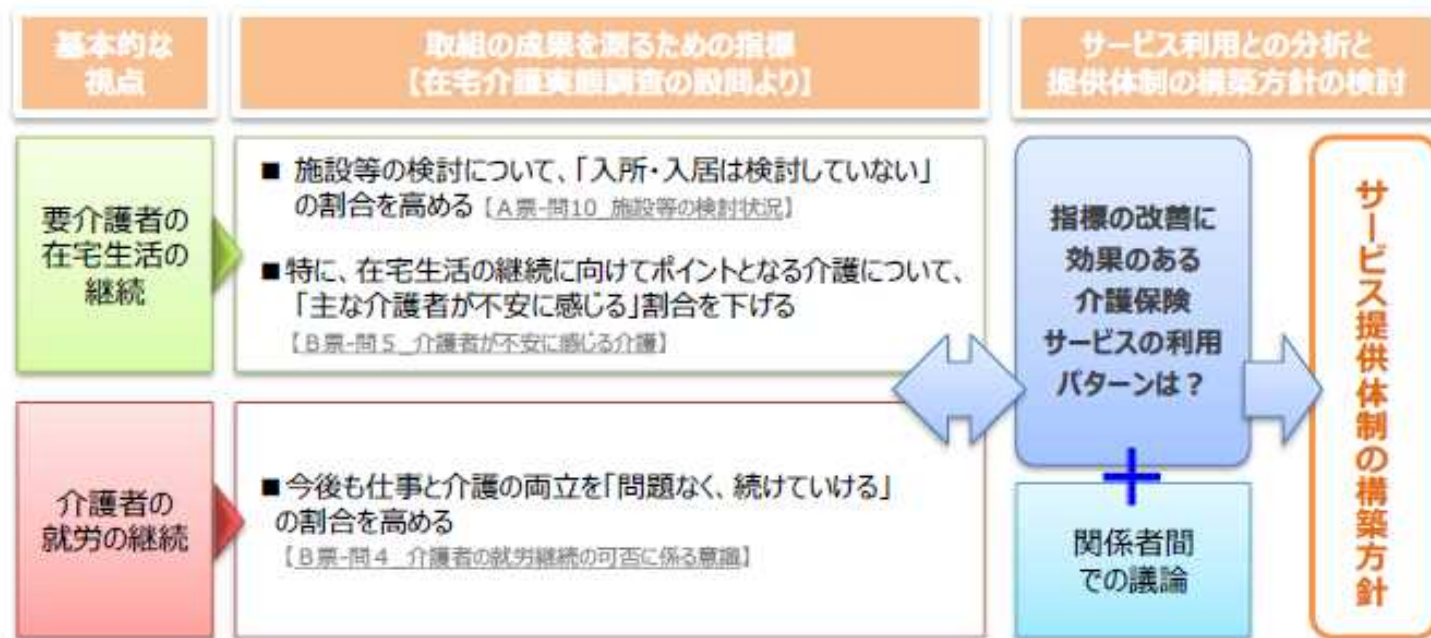
	標本名簿との照合方法の例
無記名式調査の場合	・ 標本となった高齢者に連番等の一意の番号を付与し、当該番号を調査票表紙の余白等に印字することで、調査票と標本名簿とを照合可能とする。
記名式調査の場合	・ 調査票にあて名ラベルを貼り付けて、そこに連番等の一意の番号を印字しておき、調査票と標本名簿とを照合可能とする。
	・ 記入者に被保険者番号、名前等を記入してもらうことで、調査票と標本名簿とを照合可能とする。

I 在宅介護実態調査とは？

(1) 介護保険事業計画の作成に向けた議論の材料を提供する調査

- 在宅介護実態調査においては、「要介護者の在宅生活の継続」と「介護者の就労の継続」の2つの基本的な視点に基づき、下図のような「取組の成果を測るための指標（参照指標）」が設定されています。
- そして、在宅介護実態調査の結果は、その参照指標を改善するための「サービス提供体制の構築方針」を検討するために活用することが主要な目的の1つに位置付けられています。

＜基本的な視点を踏まえた方針の検討のイメージ＞



令和7年度亀岡市高齢者等実態調査の実施について

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査の目的	総合事業の進捗管理・事業評価のために必要な地域診断を行う(地域課題の特定)
調査対象者	亀岡市の65歳以上の高齢者で要介護1～5までの認定を受けていない者
調査方法	郵送によるアンケート
対象者数	3,500人(サンプル予定数 2,100人(回収率60%))

2 在宅介護実態調査

調査の目的	要介護者の在宅生活の継続・介護者の就労継続に有効な介護サービスの検討
調査対象者	市内の在宅で生活している要支援・要介護認定を受けている者(及びその介護をしている家族)
調査方法	認定調査員による聞き取り及び郵送によるアンケート
対象者数	郵送600人(サンプル予定数 360人(回収率60%))、聞き取り50人(予定数)

高齢者等実態調査・調査業務スケジュール

日 程	業務内容
令和7年 11月	市民への周知(広報かめおか11月1日号) 調査方法・内容の検討
// 12月初旬	対象者の抽出
// 12月下旬～ 令和8年1月中旬	調査票の発送・回収
令和8年 1月下旬～ 2月中旬	調査票の集計及び分析 調査報告書の作成
令和8年 3月	調査報告書(電子データ)納品、業務完了

第10期計画策定に向けた【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】の設問項目について

必＝必須項目、オ＝オプション項目、独＝市独自項目

資料4－2

第10期策定時		
調査項目		備考
問1	あなたのご家族や生活状況について	
必	(1) 家族構成を教えてください。	1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上） 3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） 4. 息子・娘との2世帯 5. その他（具体的に： ）
必	(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか	1. 介護・介助は必要ない ⇒ (3)へ 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない 3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）
オ	(2)-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか	1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） 2. 心臓病 3. がん（悪性新生物） 4. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等） 5. 関節の病気（リウマチ等） 6. 認知症（アルツハイマー病等） 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 腎疾患（透析） 10. 視覚・聴覚障がい 11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷 13. 高齢による衰弱 14. その他（ ） 15. 不明
オ	(2)-2 主にどなたの介護、介助をうけていますか	1. 配偶者（夫・妻） 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他（ ）
必	(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか	1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある
オ	(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか	1. 持家（一戸建て） 2. 持家（集合住宅） 3. 公営賃貸住宅 4. 民間賃貸住宅（一戸建て） 5. 民間賃貸住宅（集合住宅） 6. 借家 7. その他（具体的に： ）
独	(5) 6歳～30歳の間で、学校に通っていたのは合計で何年ですか	（小学・中学・高校・大学など） 合計 年間 （※数字を記入）
問2	からだを動かすことについて	
必	(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
必	(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
必	(3) 15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
独	(4) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	1. はい 2. いいえ
必	(5) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
必	(6) 転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない
必	(7) 週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

第10期策定時			
調査項目		選択肢	備考
必	(8) 去年と比べて外出の回数が減っていますか	1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない	
独	(9) ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか	1. はい 2. いいえ	
オ	(10) 外出を控えていますか	1. はい ⇒ (10)-1へ 2. いいえ ⇒ (11) へ	
オ	(10)-1 外出を控えている理由は、次のどれですか	1. 病気 2. 障がい（脳卒中の後遺症など） 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配（失禁など） 5. 耳の障がい（聞こえの問題など） 6. 目の障がい 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない 10. その他（ ）	
オ	(11) 外出する際の移動手段は何ですか	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車（自分で運転） 5. 自動車（人に乗せてもらう） 6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす 10. 電動車いす（カート） 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他（具体的に： ）	
独	(11)-1 バスやタクシー乗車の際、敬老乗車券を利用していますか	1. バスで利用 2. タクシーで利用 3. バス・タクシーで利用 4. 利用していない	
問3 食べることについて			
必	(1) 身長・体重を記入してください	身長 cm 体重 kg	
独	(2) 食事は自分で食べられますか	1. できる 2. 一部介助（おかずを切ってもらうなど）があればできる 3. できない	
独	(3) 1日3食きちんと食べていますか	1. はい 2. いいえ	
必	(4) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ	
オ	(5) お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ	
オ	(6) 口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ	
オ	(7) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか	1. はい 2. いいえ	
必	(8) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください	1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	
オ	(8)-1 噛み合わせは良いですか	1. はい 2. いいえ	
オ	(8)-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか	1. はい 2. いいえ	
オ	(9) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ	

第10期策定時			
調査項目		選択肢	備考
必	(10)	どなたかと食事をとにもする機会がありますか 1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない	
	問4	毎日の生活について	
必	(1)	物忘れが多いと感じますか 1. はい 2. いいえ	
オ	(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか 1. はい 2. いいえ	
独	(3)	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか 1. はい 2. いいえ	
オ	(4)	今日が何月何日かわからない時がありますか 1. はい 2. いいえ	
必	(5)	バスや電車を使って1人で外出していますか 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
必	(6)	自分で食品・日用品の買物をしていますか 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
必	(7)	自分で食事の用意をしていますか 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
必	(8)	自分で請求書の支払いをしていますか 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
必	(9)	自分で預貯金の出し入れをしていますか 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
オ	(10)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか 1. はい 2. いいえ	
オ	(11)	新聞を読んでいますか 1. はい 2. いいえ	
オ	(12)	本や雑誌を読んでいますか 1. はい 2. いいえ	
オ	(13)	健康についての記事や番組に関心がありますか 1. はい 2. いいえ	
独	(14)	ふだんから家族や友人と付き合いがありますか 1. はい 2. いいえ	
独	(15)	体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか 1. はい 2. いいえ	
オ	(16)	友人の家を訪ねていますか 1. はい 2. いいえ	
オ	(17)	家族や友人の相談にのっていますか 1. はい 2. いいえ	
オ	(18)	病人を見舞うことができますか 1. はい 2. いいえ	
オ	(19)	若い人に自分から話しかけることがありますか 1. はい 2. いいえ	
オ	(20)	趣味はありますか 1. 趣味あり（具体的に： ） 2. 思いつかない	

第10期策定時			
調査項目		選択肢	備考
オ	(21)	生きがいはありますか	1. 生きがいあり（具体的に： ） 2. 思いつかない
独	(22)	あなたは周りの人の何割を信頼できますか	(信頼できる人が全くいない) 0割 (信頼できる人がとても多い) 10割 0割 1割 2割 3割 4割 5割 6割 7割 8割 9割 10割
	問5	地域での活動について	
必	(1)	以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか	① ボランティアのグループ 1 2 3 4 5 6 ② スポーツ関係のグループやクラブ 1 2 3 4 5 6 ③ 趣味関係のグループ 1 2 3 4 5 6 ④ 学習・教養サークル 1 2 3 4 5 6 ⑤ (地域のサロンなど) 介護予防のための通いの場 1 2 3 4 5 6 ⑥ 老人クラブ 1 2 3 4 5 6 ⑦ 町内会・自治会 1 2 3 4 5 6 ⑧ 収入のある仕事 1 2 3 4 5 6 1. 週4回以上 週 2. 2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
必	(2)	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか	1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している
必	(3)	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか	1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している
	問6	たすけあいについて	
必	(1)	あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（具体的に： ） 8. そのような人はいない
必	(2)	反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（具体的に： ） 8. そのような人はいない
必	(3)	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（具体的に： ） 8. そのような人はいない
必	(4)	反対に、看病や世話をしてくれる人	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（具体的に： ） 8. そのような人はいない
オ	(5)	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください	1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師 5. 地域包括支援センター・市役所 6. その他（ ） 7. そのような人はいない

第10期策定時			
調査項目		選択肢	備考
オ	(6)	友人・知人と会う頻度はどれくらいですか	1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない
オ	(7)	この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか	1. 0人(いない) 2. 1～2人 3. 3～5人 4. 6～9人 5. 10人以上
オ	(8)	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか	1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他(具体的に:) 8. いない
問7 健康について			
必	(1)	現在のあなたの健康状態はいかがですか	1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない
独	(2)	毎日の生活に満足していますか	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満
必	(3)	あなたは、現在どの程度幸せですか	(※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数を○で囲んでください) (とても不幸) (とても幸せ) 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点
必	(4)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
必	(5)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がかわない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ
オ	(6)	お酒は飲みますか	1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない
必	(7)	タバコは吸っていますか	1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない
必	(8)	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか	1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症(脂質異常) 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 11. 外傷(転倒・骨折等) 12. がん(悪性新生物) 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病 15. 認知症(アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他(具体的に:)
独	(9)	万一、あなたが治る見込みのない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか	1. 在宅(自宅・子どもの家・兄弟親族の家等) 2. 在宅に準ずる施設(サービス付き高齢者住宅、有料老人ホーム等) 3. 介護保険施設(特別養護老人ホーム、老人保健施設等) 4. 病院等医療施設 5. その他(具体的に:)
独	(10)	「フレイル」を知っていますか	1. 内容をよく知っている 2. 内容を知っている 3. 言葉を知っている 4. 知らない

第10期策定時		
調査項目	選択肢	備考
独 (11)	<p>以下の5つの項目について、最近2週間のあなたの状態に最も近いものに○をつけてください</p> <p>(1つの質問につき、1つだけ○) ① 明るく、楽しい気分で過ごした1 2 3 4 5 6 ② 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした1 2 3 4 5 6 ③ 意欲的で、活動的に過ごした1 2 3 4 5 6 ④ ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた1 2 3 4 5 6 ⑤ 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった1 2 3 4 5 6 1. まったくない 2. ほんのたみに 3. 半分以下の期間を 4. 半分以上の期間を 5. ほとんどいつも 6. いつも</p>	
独 (12)	<p>かかりつけ医はありますか</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>	
独 (13)	<p>定期的に歯科検診を受けていますか</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>	
問8	認知症にかかる相談窓口の把握について	
必 (1)	<p>認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>	
必 (2)	<p>認知症に関する相談窓口を知っていますか</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>	
問9	介護保険サービスについて	
独 (1)	<p>あなたの介護保険料についての経済的負担感はどうですか</p> <p>1. 負担は感じない 2. この程度ならよい 3. やや負担が大きい 4. 負担が大きい</p>	
独 (2)	<p>サービス利用に伴う自己負担について経済的負担感はどうですか</p> <p>1. 負担は感じない 2. この程度ならよい 3. やや負担が大きい 4. 負担が大きい 5. サービスを利用していない</p>	
独 (3)	<p>あなたの介護サービスの利用について、どのようにお考えですか</p> <p>1. できるだけ家族や自分で対応すべきであり、介護サービスには頼らない 2. 家族、自分、ボランティアや地域の人の力でも足りない部分を介護サービスで補ってほしい 3. 家族や自分だけでは対応できない部分については、介護サービスを利用したい 4. 介護サービスを利用する権利があるのだから、できるだけ利用したい 5. その他（具体的に： ）</p>	
独 (4)	<p>あなたは、介護サービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか</p> <p>1. 介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方がいい ⇒ (4)-1、(4)-2へ 2. 施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とするのがよい ⇒ (4)-3へ 3. サービスの量が低下しても、保険料が安いほうがよい ⇒ (4)-3へ 4. その他（具体的に： ） ⇒ 次ページの (5) へ</p>	
独 (4)-1	<p>施設や介護サービスの量が増えるのであれば、保険料の基準額は、いくらが適当だと思いますか</p> <p>1. 月5,196円～5,500円未満 2. 月5,500円～6,000円未満 3. 月6,000円～7,000円未満 4. 月7,000円～8,000円未満 5. 月8,000円以上 6. わからない</p>	

第10期策定時			
調査項目		選択肢	備考
独	(4)-2	施設や在宅サービスの量を増やすとしたら、最も希望するのはどのサービスですか	(○は最も希望するもの1つだけ) 1. 施設サービス (特別養護老人ホーム、老人保健施設等) 2. 訪問サービス (訪問介護 (ホームヘルパーの訪問)・訪問入浴・訪問看護 (看護師の訪問)) 3. 通所サービス (通所系サービス (通所介護 (デイサービス)・通所リハビリ)) 4. 短期入所生活介護 (ショートステイ) …介護者の不在等により一時的に施設に入所することができるサービス 5. 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) …認知症の人が介護を受けながら共同生活を送る施設
独	(4)-3	施設や在宅サービスの中で、なくなると最も困るサービスは何ですか	(○は最も困るもの1つだけ) 1. 施設サービス (特別養護老人ホーム、老人保健施設等) 2. 訪問サービス (訪問介護 (ホームヘルパーの訪問)・訪問入浴・訪問看護 (看護師の訪問)) 3. 通所サービス (通所系サービス (通所介護 (デイサービス)・通所リハビリ)) 4. 短期入所生活介護 (ショートステイ) …介護者の不在等により一時的に施設に入所することができるサービス 5. 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) …認知症の人が介護を受けながら共同生活を送る施設
独	(5)	保険料を財源として亀岡市独自のサービスを行うとしたら、最も希望するのはどのサービスですか	1. 外出の付添・見守り等 2. 配食サービス 3. 介護予防を目的とした体操教室や口腔教室等 4. 健康に関する教室や介護者の支援事業 5. 保険料が高くなるのであれば、希望しない
問10	その他		
独	(1)	現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください	1. 移送サービス (介護・福祉タクシー) 2. 移送サービス (自治会や法人等のサービス) 3. 見守り、声かけ 4. サロンなどの定期的な通いの場 5. 配食 6. 調理 7. 買い物代行サービス 8. 買い物宅配サービス 9. 移動販売 10. ゴミ出し 11. 外出同行 (通院、買い物など) 12. その他 () 13. 利用していない ○削除選択肢 1. 掃除・洗濯 2. 買い物 (宅配は含まない)
独	(2)	お住まいの地域について、困りごとの相談をしたり、支援を受けやすいと感じますか	(※「全く感じない」を0点、「とても感じる」を10点として、あてはまる点数を○で囲んでください) (全く感じない) (とても感じる) 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点
独	(3)	お住まいの地域について、安心して在宅生活を継続しやすいと感じますか	(※「全く感じない」を0点、「とても感じる」を10点として、あてはまる点数を○で囲んでください) (全く感じない) (とても感じる) 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点
独	(4)	あなたは、この1年間に、どのくらいの現金を寄付、募金をされましたか (現物によるものは相当額に換算してください)。	1. 100円未満 2. 100円以上1,000円未満 3. 1,000円以上5,000円未満 4. 5,000円以上1万円未満 5. 1万円以上5万円未満 6. 5万円以上10万円未満 7. 10万円以上 8. 寄付・募金はしていない
新設 (国の新オプション)	就労について		
	現在のあなたの就労状態はどれですか		1. 職に就いたことがない 2. 引退した 3. 常勤 (フルタイム) 4. 非常勤 (パート・アルバイト等) 5. 自営業 6. 求職中 7. その他

第10期策定時		
調査項目	選択肢	備考
認知症に対してどのようなイメージを持っていますか？	1. できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で今までどおり自立的に生活できる 2. 医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける 3. 身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる 4. 暴言・暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる 5. 症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう 6. その他（ ）	<p><u>国の認知症施策推進基本計画の重点目標のKPI（アウトカム指標）に基づき新設。</u></p> <p>重点1：国民一人一人が「新しい認知症観」を理解していること。 ・認知症や認知症の人に関する国民の基本的な知識の理解 ・国民における「新しい認知症観」の理解とそれに基づく振る舞いの状況</p> <p>重点2：認知症の人の生活においてその意思等が尊重されていること ・地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できていると考えている認知症の人及び国民の割合</p> <p>重点3：認知症の人・家族等が他の人々と支え合いながら地域で安心して暮らすことができること ・自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいて感じている認知症の人の割合 ・地域で役割を果たしていると感じている認知症の人の割合 ・認知症の人が自分らしく暮らせると考えている認知症の人及び国民の割合</p> <p>重点4：国民が認知症に関する新たな知見や技術を活用できること ※アンケートにとるアウトカム指標ではない</p>

第10期計画策定に向けた【在宅介護実態調査】の設問項目について

必＝必須項目、オ＝オプション項目、独＝市独自項目

資料4－3

調査項目		選択肢	備考
必	まずはじめに、『A票』にご回答いただくのは、どなたですか。（○はいくつでも）	1. 調査対象者本人 2. 主な介護者となっている家族・親族 3. 主な介護者以外の家族・親族 4. 調査対象者のケアマネジャー 5. その他（ ）	
	A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします		
必	問1 世帯類型について	1. 単身世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他（ ）	
必	問2 ご家族やご親族の方からの介護（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）は、週にどのくらいありますか	1. ない ⇒ 次のページの問8へ 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない 3. 週に1～2日ある 4. 週に3～4日ある 5. ほぼ毎日（週5日以上）ある ⇒2～5を選んだ方は問3へ	
	【問3～問7は、問2で「2.」～「5.」のいずれかと回答した方（ご本人が介護を受けている場合）のみ】		
オ	問3 主な介護者の方は、どなたですか ※ ご本人からみた続柄でお答えください	1. 配偶者 2. 子 3. 子の配偶者 4. 孫 5. 兄弟・姉妹 6. その他（ ）	
オ	問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください	1. 男性 2. 女性	
必	問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください	1. 20歳未満 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳以上 9. わからない	
オ	問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（○はいくつでも）	〔身体介護〕 1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助（食べる時） 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） 〔生活援助〕 12. 食事の準備（調理等） 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 〔その他〕 15. その他（ ） 16. わからない	
必	問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事（自営業や農林水産業を含む）を辞めた方はいますか（○はいくつでも）	1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く） 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） 3. 主な介護者が転職した 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない 6. わからない	
	※ここから再び、全員の方にお伺いします。		
オ	問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（○はいくつでも）	1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物（宅配は含まない） 5. ゴミ出し 6. 外出同行（通院、買い物など） 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場 10. その他（ ） 11. 利用していない	

調査項目		選択肢	備考
オ	問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（〇はいくつでも）	1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物（宅配は含まない） 5. ゴミ出し 6. 外出同行（通院、買い物など） 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場 10. その他（ ） 11. 特になし	
必	問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください	1. 入所・入居は検討していない 2. 入所・入居を検討している 3. すでに入所・入居申し込みをしている	
オ	問11 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（〇はいくつでも）	1. 脳血管疾患（脳卒中） 2. 心疾患（心臓病） 3. 悪性新生物（がん） 4. 呼吸器疾患 5. 腎疾患（透析） 6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等） 7. 膠原病（関節リウマチ含む） 8. 変形性関節疾患 9. 認知症 10. パーキンソン病 11. 難病（パーキンソン病を除く） 12. 糖尿病 13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの） 14. その他（ ） 15. なし 16. わからない	
オ	問12 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか	1. 利用している 2. 利用していない	
オ	問13 現在、介護保険サービスを利用していますか	1. 利用している ⇒問13-1へ 2. 利用していない ⇒問13-2へ	
	【（前ページの）問13で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします】		
独	問13-1 以下の介護保険サービスについて、令和7年11月1日～30日（1か月）の間の利用状況をご回答ください（A～J欄に沿って順番にそれぞれ1つに〇） A. 訪問介護（ホームヘルプサービス） B. 訪問入浴介護 C. 訪問看護 D. 訪問リハビリテーション E. 通所介護（デイサービス） F. 通所リハビリテーション（デイケア） G. 認知症対応型通所介護（デイサービス） H. 小規模多機能型居宅介護 I. ショートステイ J. 居宅療養管理指導	【A～Gの選択肢】 1 週間あたりの利用回数（それぞれ1つに〇） 1. 利用していない 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 6. 5回以上 【Hの選択肢】 利用の有無 1. 利用していない 2. 利用した 【Iの選択肢】 1 か月あたりの利用日数 1. 利用していない 2. 1～7日程度 3. 8～14日程度 4. 15～21日程度 5. 22日以上 【Jの選択肢】 1 か月あたりの利用回数 1. 利用していない 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 職種 1. 医師 2. 歯科医師 3. 薬剤師 4. 管理栄養士 5. 歯科衛生士等	
	【（前ページの）問13で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします】		

調査項目		選択肢	備考
オ	問13-2 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（○はいくつでも）	1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない 2. 本人にサービス利用の希望がない 3. 家族が介護をするため必要ない 4. 以前、利用していたサービスに不満があった 5. 利用料を支払うのが難しい 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない 9. その他（ ）	
	B票 主な介護者の方について、お伺いします		
必	問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください	1. フルタイムで働いている 2. パートタイムで働いている ⇒ 1 または 2 を選んだ方は問2-1～問2-3についてお答えください 3. 働いていない 4. 主な介護者に確認しないと、わからない ⇒ 3 または 4 を選んだ方は次のページの問3へ	
	【問2-1～問2-3は、問1で「1.フルタイム」または「2.パートタイム」で働いていると回答した方のみ】		
必	問2-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（○はいくつでも）	1. 特に行っていない 2. 介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている 3. 介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている 4. 介護のために、『在宅勤務』を利用しながら、働いている 5. 介護のために、「2.」～「4.」以外の調整をしながら、働いている 6. 主な介護者に確認しないと、わからない	
オ	問2-2 主な介護者の方は、勤め先から特にどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（○は主なもの3つまで）	1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 3. 制度を利用しやすい職場づくり 4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など） 5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど） 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 9. その他（ ） 10. 特にない 11. 主な介護者に確認しないと、わからない	
必	問2-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか	1. 問題なく、続けていける 2. 問題はあるが、何とか続けていける 3. 続けていくのは、やや難しい 4. 続けていくのは、かなり難しい 5. 主な介護者に確認しないと、わからない	
	※全員の方にお伺いします。		
必	問3 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が特に不安に感じる介護等について、ご回答ください（○は主なもの3つまで）	【身体介護】 1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助（食べる時） 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） 【生活援助】 12. 食事の準備（調理等） 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 【その他】 15. その他（ ） 16. 不安に感じていることは、特にない 17. 主な介護者に確認しないと、わからない	

調査項目			選択肢	備考
新設 (市独自)	あなたは、自分らしく暮らせている と思いますか。	1. 思う 2. 思わない 3. わからない		<p>国の認知症施策推進基本計画の重点目標のK P I（アウトカム指標）に基づき新設。</p> <p>重点1：国民一人一人が「新しい認知症観」を理解していること。 ・認知症や認知症の人に関する国民の基本的な知識の理解 ・国民における「新しい認知症観」の理解とそれに基づく振る舞いの状況</p> <p>重点2：認知症の人の生活においてその意思等が尊重されていること ・地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できていると考えている認知症の人及び国民の割合</p> <p>重点3：認知症の人・家族等が他の人々と支え合いながら地域で安心して暮らすことができること ・自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいると感じている認知症の人の割合 ・地域で役割を果たしていると感じている認知症の人の割合 ・認知症の人が自分らしく暮らせると考えている認知症の人及び国民の割合</p> <p>重点4：国民が認知症に関する新たな知見や技術を活用できること ※アンケートにとるアウトカム指標ではない</p>
	在宅生活の様々な場面において、あなたの意思が尊重され、自分の望む生活が継続できていると思いますか。	1. 思う 2. 思わない 3. わからない		

基本施策

活動/アウトプット

※基本施策と初期アウトカムとの関係は次のページに、活動／アウトプットは「2. 基本施策における数値目標」に記載しました。

初期アウトカム

相談者のニーズに沿った相談支援ができる

住み慣れた地域で暮らし続けるための資源がある

認知症になっても自分らしく生活できる

在宅療養をあきらめる人がいない

介護予防、重度化防止が定着する

自分の心身の状態や健康づくりへの関心が高まる

年齢にとらわれず、
生きがいや役割を持つ高齢者が増える

高齢者の尊厳と人権が尊重され、
生活維持のための支援体制が充実している

生活支援の必要な高齢者が地域での生活を
続けられるよう住まいを確保する

災害等の緊急事態を含めて高齢者の
安全と安心を確保できる

高齢者が地域福祉活動や地域コミュニティの育成に
おいて長年培ってきた知識や経験を活かせる

介護サービスを必要とする高齢者が
過不足なくサービスを受けることができる

困難を抱える高齢者やその家族が必要な時に
必要な福祉サービスを利用することができる

初期アウトカム
(第10期で見直す予定)

相談者のニーズに沿った相談支援ができる

住み慣れた地域で暮らし続けるための資源がある

認知症になっても自分らしく生活できる

医療と介護を必要とする高齢者が希望する場所で周
りと調和を図り、大切にしていることを守りながら
生活できる

介護予防、重度化防止の意識が高まる

健康づくりや介護予防の取り組みが行える

年齢にとらわれず、
生きがいや役割を持つ高齢者が増える

権利擁護のための支援体制がある

生活支援の必要な高齢者が地域での生活を
続けられるよう住まいを確保する

災害等の緊急事態を含めて高齢者の
安全と安心を確保できる

高齢者が地域福祉活動や地域コミュニティの育成に
おいて長年培ってきた知識や経験を活かせる

介護サービスを必要とする高齢者が
過不足なくサービスを受けることができる

困難を抱える高齢者やその家族が必要な時に
必要な福祉サービスを利用することができる

中間
アウトカム

高齢になっても
住み慣れた地域で
自分らしく生活
することができる

心身の状態がよい
高齢者が増える

高齢者の
安全・安心な生活
が確保されている

介護サービスや
高齢者福祉サービ
スが充実している

最終
アウトカム

「自分は健康である」と感じている人が多い